

4/1(水)から資源ごみの出し方を一部変更

使用済み天ぷら油、充電電池・ボタン電池の回収開始

4月1日(水)から資源ごみの出し方を一部変更します。使用済み天ぷら油、充電電池・ボタン電池の回収開始や化粧品びんの埋立ごみから資源ごみへの変更などです。ごみの減量、再利用、再資源化を推進します。



生活環境課 995-1816

美化センター 992-3210

天ぷら油をペットボトルに入れて回収

家庭で使用した天ぷら油を資源の日に回収します。回収する油は、サラダ油などの植物性由来の液体油です。動物性油、固形油、食用以外の油（灯油や機械油など）は回収しません。

スクリュキャップ（ネジふた）付きの2リットル以下のペットボトルに、軽くこした使用済み天ぷら油を入れ、資源ステーションにある天ぷら油の青いコンテナに横に倒して入れてください。回収した油は業者に売却し、バイオディーゼル燃料として再生利用されます。



充電電池、ボタン電池の回収を開始

家庭で使用した小型充電式電池、ボタン電池（コイン電池を含む）を資源の日に回収します。回収する電池は、デジタルカメラ、携帯ゲーム機、携帯電話、パソコンなどの小型充電式電池で、充電式電池のリサイクルマークの表示があるものと、ボタン電池（コイン電池を含む）です。車載バッテリーは回収しません。

電池の金属端子部分をセロハンテープなどで絶縁し、資源ステーションの乾電池・充電電池、ボタン電池の容器に分けて入れてください。



リサイクルマーク

化粧品びんを資源ごみに変更

これまで埋立ごみで回収していた化粧品びんを資源の日に回収します。化粧品びんは、中栓やポンプを外し、中身を出し切って、さっと洗ってください。資源ステーションで無色、茶、その他の色別に分けて出してください。びんの色は、口の色で判断してください。口が透明ならびん本体の表面に色の塗装があっても無色のびんになります。マニキュアやリップグロスなど、中の洗浄が困難なびんは埋立ごみで出してください。

雑がみの出し方を追加

燃えるごみの中にはリサイクルできる雑がみ（新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック以外の紙類）が多く含まれています。これまで雑がみは、雑誌の間に挟み込み、白い紙ひもで縛ったものを回収していました。出しやすくするため、持ち手が紙製の紙袋に入れ、白い紙ひもで縛って出すことができるようになります。防水加工紙や汚れた紙などリサイクルに適さない紙は燃えるごみで出してください。



衣類などの回収品目に靴を追加

衣類などの回収品目に靴を追加します。靴は左右ペアで靴ひもなどで束ねて、ほかの衣類とは別の袋に入れて出してください。袋は透明または半透明のものを使用し、紙袋など中が見えない袋は使用しないでください。汚れや破損のある靴は燃えるごみで出してください。

また、衣類などの回収ボックスを鈴木図書館と南児童館にも設置します。



ひもで縛る